

シンポジウム 3

「肥満外科治療の現状と課題」

司会 渡邊 雅之（がん研有明病院消化器外科）

竹内 裕也（浜松医科大学外科学第二講座）

世界的な肥満人口の増加とともに、内科的治療抵抗例に対する肥満外科手術や Metabolic surgery が注目され、わが国においても日常臨床として肥満外科治療が行われている。一方で保険承認術式が腹腔鏡下スリーブ状胃切除術に限定されており、かつ術前から術後長期にわたって多診療科・多職種によるチームマネジメントを要することから、様々な課題が指摘されている。本シンポジウムでは各施設の成績と工夫を示していただき、わが国における肥満外科治療の将来展望を論じていただきたい。